

平成28年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金
(地域再エネ水素ステーション導入事業)
採択事業(2次募集)一覧表

通し 番号	事業実施の代表者 (共同実施者)	設置予定箇所	事業概要
10	三沢市ソーラーシステムメンテナンス事業協同組合	青森県上北郡おいらせ町	<ul style="list-style-type: none"> ・「青森県エネルギー産業振興戦略」では、再生可能エネルギーが集積する地区において余剰電力等を利用したCO2フリー水素製造の実現を目指す、寒冷地仕様の設置工事や管理に関する技術・ノウハウを蓄積していくことが重要 等と位置づけ。 ・既存水素ST(宮城県仙台市)との最短走行距離は約330kmで、東北北部の空白地帯への設置を促す呼び水となる。 ・スマート水素ステーション(水素製造量1.5kg/日、常用圧力35MPa)及び太陽光発電設備を導入。
11	宮古空港ターミナル株式会社	沖縄県宮古島市	<ul style="list-style-type: none"> ・本空港乗降客(年間134万人)FCV体験試乗や環境をテーマとした音楽イベントの音響機器電源をFCV外部給電により観光客や住民へ普及拡大を図る。 ・陸路で充填可能な既存水素STは存在せず、沖縄本島及び他の離島へ使用地域の拡充が期待される。 ・スマート水素ステーション(水素製造量1.5kg/日、常用圧力35MPa)を導入。水素製造に必要な全電力を他の補助事業で導入した、独立型再生可能エネルギー(太陽光発電)を活用。
12	相馬ガスホールディングス株式会社	福島県南相馬市原町区	<ul style="list-style-type: none"> ・福島県と東京都との水素エネルギー利用計画において産総研のある郡山市と連携し、民間事業者が中心となって、官民一体で進める水素エネルギー社会の構築を目指し、南相馬市のエネルギー・観光・自動車等各業界企業が一体となって、水素エネルギー社会の構築をすることで、新たな町の活性化に繋げる。 ・既存水素ST(宮城県仙台市)との最短走行距離は約80kmで、首都圏、北関東から東北仙台までの太平洋岸にFCV使用領域が拡大される。 ・スマート水素ステーション(水素製造量1.5kg/日、常用圧力35MPa)及び太陽光発電設備を導入。
13	株式会社木下エネルギーパーク	広島県広島市佐伯区	<ul style="list-style-type: none"> ・一般需要が伸び、採算性が確立された場合には、その供給数量の拡充を図るとともに、施設の拡充も検討していく。 ・既存水素ステーション(兵庫県尼崎市)との最短走行距離は約200kmで、広島県内でも有数の交通拠点に当たる箇所であり、山口県、岡山県へ通行する際には必ず通過点となるため、日本縦断には欠かせなく、燃料電池自動車が使用できる地域の拡大に資する。 ・スマート水素ステーション(水素製造量1.5kg/日、常用圧力35MPa)及び太陽光発電設備を導入。